



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは

こうへい
山田耕平
です

2023.8.24 No.490

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください！

杉並区善福寺 2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

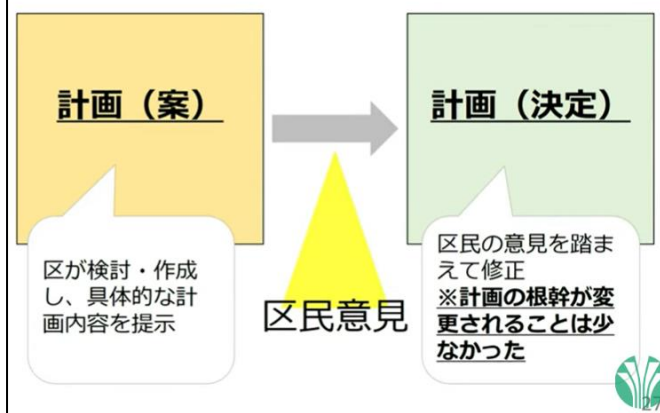
右QRコードを
ご活用下さい



施設再編を考えるシンポジウム開催

計画段階から住民参加を位置付け 課題も…

○ 計画決定のプロセス（現状）



これまでの再編整備計画の進め方

見直しを求める54件の陳情

8月12日（土）施設再編を考えるシンポジウム
「区長とともに考えよう「未来へつなぐ公共施設のカタチ」」が開催されました。

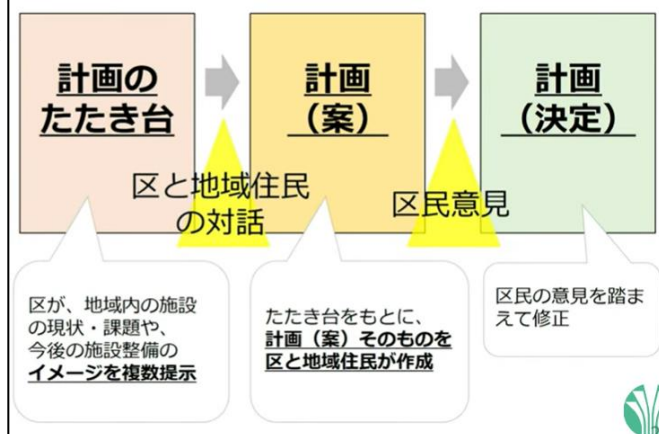
今後の区立施設のあり方は
住民参画のもとで検討へ

シンポジウムでは、これまでの区立施設再編整備計画の検証や今後のあり方について、区内7地域で実施された住民との意見交換会を経て、これからの取り組みを検討するものです。

7地域での意見交換会やシンポジウムでは、杉並区が区立施設再編整備計画の進め方に誤りがあったことを認め、今後の区立施設のあり方については、計画策定段階から住民参画のもとで検討することを明らかにしました（下図）。

これまでの再編整備計画は、行政が一方的に計画決定した施設再編の方針を地域住民に説明するだけのものであり、区民意見で見直されることは、ほとんどありませんでした（上図）。

○ 計画決定のプロセス（今後考えられるかたち）



これからの再編整備計画の進め方

児童館・ゆうゆう館再編等 問題の検証はこれからの課題

施設再編整備計画の進め方が見直されることは重要ですが、一方で児童館やゆうゆう館の再編整備により発生した問題への検証が不十分です。

児童館やゆうゆう館は、杉並区が長年をかけて、住民と共に作り上げてきた施設です。児童や高齢者の拠点としても重要な役割を果たしてきました。これらの施設のあり方については、現場職員、地域住民、学識経験者等も含めた「施設のあり方の再検討」の機会が必要です。

区立施設再編整備計画が検討された平成25年度以降、杉並区議会には計画の見直しを求める多数の要望が寄せられ、現在までに54件もの陳情が寄せられています。

一つの計画に対して、長期間、これほど多くの見直し意見が寄せられることは前例がありません。区立施設再編整備計画が住民合意無く進められてきたことを端的に示しています。

共闘の力で憲法9条・13条の政治実現を

市民連合、 共産党に要請



「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」（市民連合）は10日、国会内で日本共産党と懇談し、立憲野党と市民の共闘で、憲法9条と同13条の政治の実現を求める要請書を手渡しました。日本共産党の志位和夫委員長は「要請の趣旨は全面的に賛同します」と応じました。

申し入れ・
懇談の動
画はこちら
から

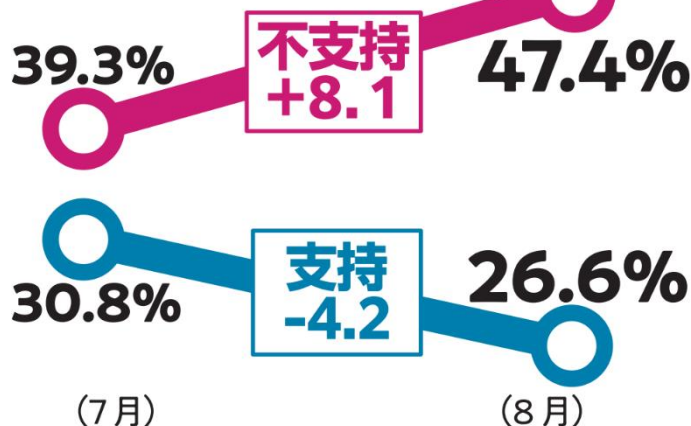


市民と野党の共闘 共産党は一貫して追求

「市民と野党の共闘をなんとしても実現し、総選挙で岸田政治を止めたい」「立憲野党が手をつなぎ、選挙で勝利を生み出してほしい」という市民連合からの要望に対し、志位氏は、「難しい条件はあるが、共闘の再構築のために努力していきたい」と応じました。

岸田内閣 支持率は 2割台へ

「危険水域」とメディアも報道



時事通信が4～7日にかけて実施した8月の世論調査で、岸田内閣の支持率は3カ月連続の下落。5カ月ぶりに政権維持の「危険水域」とされる2割台に転落。不支持率は政権発足以来最高を記録しました。

第3回定例会 9月11日開会 一般質問予定

9月11日（月）より、杉並区議会第3回定例会が開会します。

今定例会で一般質問を予定しています。質問の詳細は改めてニュース等でお知らせします。



今週のコマ

4年振り！さくら町会の盆踊り支援

コロナ禍で開催出来なかった地域行事が復活しつつあります。8月には、ご近所でも複数の盆踊り大会が開催されました。4年振りの開催となるさくら町会では荻窪消防団とおやじの会として、見回りや交通誘導の支援を実施しました。

久々のイベントに近所の子ども達を中心に大勢が参加。大変な賑わいとなり、子ども達の笑顔が溢れる素晴らしいイベントになりました。

開催にご尽力された全ての関係者のみなさんに感謝申し上げます。